



京都文教短期大学 保護者会

会報 第56号 令和5年8月7日発行
編集・発行：京都文教短期大学保護者会

〒611-0041 京都府宇治市槇島町千足80
<https://www.kbu.ac.jp/kbic/>

総務課	:0774-25-2405	入試広報課	:0774-25-2408
学生課	:0774-25-2497	就職進路課	:0774-25-2524
教務課	:0774-25-2411	図書館事務室	:0774-25-2420
フィールドリサーチオフィス	:0774-25-2630		

■ 学長よりご挨拶

◆ 楽しくなければ短大ではない！

日頃は、本学の教育活動に格別のご理解とご協力を頂戴しておりますことに、本学を代表して深く感謝申し上げます。

コロナ感染症が2類から5類に移行し、学内の対応レベルも引き下げられたことでコロナ禍前の学園生活へ戻りつつあります。学友会や学生課が主催・共催するイベントも復活し、宇治キャンパスに学生たちの活気ある姿が戻ってきました。

本年4月、177名の新生を迎えました。今年の新生は、高校生活3年間をコロナ禍で過ごした学生たちです。色々と活動自粛などの制限を受けてきた学年でもあります。だからこそ宇治キャンパスでの学生生活を楽しんでほしいと願っています。さらに、学生たちには「建学の精神」のもと本学が目標とする『人間力・社会人力・専門力』を身に付け、複雑な社会を生き抜く『柔軟な“こころ”と“からだ”』を育ててほしいと思っています。



今後、益々少子高齢化が進み、我が国の社会構造は変化を求められることになるでしょう。その様な社会の中で学生たちは社会人として、また親として生きて行くことになります。少しでも豊かで幸せな暮らし、そして人生を送るうえで本学での2年間は大変重要であると考えます。2年間の学びを通して、自身の進むべき道や将来の夢を見つけ、その為に「今何が必要か」、「何をすべきか」に気づいてほしいと思います。人間（ひと）は、“気づく”ために学び、考え、そして行動に移します。学生一人ひとりが“気づく”ことのできる教育環境を作り出すことが我々教職員の役割です。

表題の『楽しくなければ短大ではない』は、私の目標です。楽しく学び、夢に向かって歩み続けることのできる人材育成が、本学の強みです。コロナ禍を乗り越え、本学の就職率は100%をキープしています。学生自身の努力、教職員のバックアップもさることながら、同窓生の存在も忘れてはいけません。三万八千人を超える同窓生が京都文教短期大学並びに京都文教学園を支えてくれています。これもまた、文短（ぶんたん）が就職に強い理由の一つです。

教職員は学生一人ひとりが満足し、成長できるように努力する所存です。保護者の皆様方におかれましては今後ともご支援の程よろしくお願い申し上げます。

京都文教学園は2024年に創立120年を迎えます。この度、ホームページ上に『学園120周年記念サイト』を開設しました。学園の歴史や将来へ向けた取組み等をご覧いただけます。また記念事業募金（寄付）もお願いしています。ご支援、ご協力ください。



第64回入学式
(令和5年4月1日 於：本学同唱館)

京都文教短期大学

学長 森井 秀樹

■ 保護者会役員会

◆ 新会長に菱田俊弘氏を選出

令和5年5月20日(土)午前10時より光暁館会議室において会計監査、11時より役員会を開催し、本年度総会は書面にて決議を行う方法で実施した。役員会では、開会にあたり中村香織会長の挨拶にはじまり、森井学長の挨拶の後、庶務より令和4年度の主な事業報告として、令和4年5月21日の役員会、総会(書面決議)開催、保護者会報の発行について、学生厚生補導費、教育・就職支援補助費、教材補助費からの各事業について報告があり、事業報告について異議なく承認された。

続いて保護者会決算報告を会計より、会計監査報告を会計監事 中村真理子氏より報告され、令和4年度保護者会決算報告並びに会計監査報告について異議なく承認された。



令和5年度新役員には、学長より事前に推薦がなされ 会長 菱田俊弘氏、副会長 山下智子氏、庶務 須田雅子氏、会計 林裕子氏、会計監事 中村直美氏、植村幸子氏が選出された。菱田俊弘新会長の挨拶の後、令和5年度事業計画(案)が庶務より提案され、今年度も学生厚生補導、学生指導補助、進路就職に関わる教育・就職支援補助、教育支援補助、教材補助等の充実を図り、また

災害対策本部用備蓄として水・非常食を購入する旨の説明がされ承認された。

なお、本役員会での承認内容については、会員の皆様へ書面決議ハガキを送付することが承認され、今年度の役員会を終えた。

■ 保護者会会長よりご挨拶

保護者の皆様にはご清祥の事と大慶に存じます。この度、令和5年度保護者会会長に就任させていただきました菱田俊弘です。至らない点が多々あるかと思いますが1年間、精一杯努めさせていただきます。

保護者の皆様には日頃より保護者会の活動にご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

規制緩和でマスクを外す機会が増えて参りました。学生たちも今まで一緒に講義を受けていた友人がこんな顔だったのかと、改めて思うかもしれません。「和顔愛語」という言葉があります。人に接するときは柔和な表情で和らいだ笑顔を示し、親愛の情をこめた穏やかな言葉で話すという意味ですが、実際はなかなか柔和な表情ばかりではられません。しかしここ数年、友人であっても半分しか表情がわからなかった学生たちにとってはコミュニケーションを図る場面で豊かな表情を見せあえるのは嬉しい事だと思います。学生たちは2年間という短い期間ではありますが、社会へ出てゆく為の力を身につけるべく日々それぞれの学びに精進しています。その学生生活を安心して送れるよう、また充実したものになるよう、サポートするのがこの京都文教短期大学保護者会の役割だと思っております。保護者の皆様には今後ともご支援、ご協力を賜ります様どうぞよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、京都文教短期大学の更なる発展、皆々様の御多幸を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

京都文教短期大学保護者会
会長 菱田 俊弘

令和5年度保護者会役員

会 長	菱田 俊弘 (ライフII)	副 会 長	山下 智子 (ライフII)
庶 務	須田 雅子 (幼教I)	会 計	林 裕子 (幼教II)
会計監事	中村 直美 (幼教II)	会計監事	植村 幸子 (幼教II)

令和4年度 京都文教短期大学保護者会決算書

収入の部

(令和4年4月1日~令和5年3月31日)
(単位 円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
会 費	4,944,000	4,994,000	△ 50,000	12,000×415名 3,000×2名 2,000×3名 1,000×2名
預 金 利 息	25	26	△ 1	
前年度繰越金	607,646	607,646	0	令和3年度繰越金
収入の部合計	5,551,671	5,601,672	△ 50,001	

支出の部

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
学生厚生補助費	1,900,000	1,459,690	440,310	卒業記念品、学生自治活動、学生生活支援等補助・災害対策用備蓄購入
卒業支援費	250,000	250,000	0	京都文教短期大学ブラザー奨学金へ補助
図書補助費	1,600,000	1,575,480	24,520	図書購入
教育・就職支援補助費	550,000	406,903	143,097	教育・就職支援へ補助
教材補助費	850,000	1,731,730	△ 881,730	教育・研究用備品等へ補助
会議費	10,000	0	10,000	保護者会役員会経費
事務費	100,000	101,893	△ 1,893	通信費
印刷費	220,000	47,850	172,150	保護者会報印刷
雑費	50,000	0	50,000	
予備費	21,671	0	21,671	
次年度繰越金	0	28,126	△ 28,126	
支出の部合計	5,551,671	5,601,672	△ 50,001	

令和4年度 京都文教短期大学保護者会決算書及び会計帳簿について監査したところ適正であることを確認した。

令和5年5月20日 会計監事 中村 真理子 ㊟ 会計 植村 幸子 ㊟
会計監事 山下 智子 ㊟

令和5年度 京都文教短期大学保護者会予算書

収入の部

(令和5年4月1日~令和6年3月31日)
(単位 円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	差 異	備 考
会 費	4,368,000	4,944,000	△ 576,000	㊟12,000×364名 ※5/1現在の学生数375名より約3%減(退学・休学者見込み数)で設定
預 金 利 息	25	25	0	
前年度繰越金	28,126	607,646	△ 579,520	令和4年度繰越金
収入の部合計	4,396,151	5,551,671	△ 1,155,520	

支出の部

科 目	本年度予算額	前年度予算額	差 異	備 考
学生厚生補助費	1,800,000	1,900,000	△ 100,000	学生自治活動・各クラブ活動引率経費・災害・安全対策費等へ補助
卒業支援費	250,000	250,000	0	京都文教短期大学ブラザー奨学金へ補助
図書補助費	1,300,000	1,600,000	△ 300,000	図書購入
教育・就職支援補助費	470,000	550,000	△ 80,000	教育・就職支援へ補助
教材補助費	350,000	850,000	△ 500,000	教育・研究・施設備品等へ補助
会議費	5,000	10,000	△ 5,000	保護者会役員会経費
事務費	100,000	100,000	0	通信費・宛名ラベル等
印刷費	50,000	220,000	△ 170,000	保護者会報印刷
雑費	50,000	50,000	0	慶弔費を含む
予備費	21,151	21,671	△ 520	
支出の部合計	4,396,151	5,551,671	△ 1,155,520	

■ 教務課より

◆成績・時間割等確認方法について

本学では、Webポータルサイト「UNIVERSAL PASSPORT（ユニバーサル・パスポート、通称：ユニパ）」にて成績及び学期期間中の個人時間割をパソコンやスマートフォンからいつでも確認することができます。さらに大学からのイベントや講演会等の各種お知らせ機能も追加され、メールでお知らせを受け取ることもできます。

ユニパへのアクセスにはログインID・パスワードが必要になります。ID・パスワードは、入学年度5月頃に本学よりお送りいたしましたハガキに掲載しております。

〈成績・時間割確認方法〉

- ①保護者向けサイトURL (<https://sites.google.com/po.kbu.ac.jp/kbjchogosya/?>) または右QRコードよりアクセスしてください。
- ②保護者向けサイトの「成績・時間割確認の方法」よりユニパにアクセス、ログインいただけます。
- ③メールのお知らせ機能は、ユニパへログイン後、右上の[setting]をクリック、左上の[メール設定]をクリックし、受信メールアドレスを入力してください。



※成績発表後にいくつかの正当な理由（再試験結果の反映、休学による成績削除など）によって発表された成績が変更される場合があることをご承知おきください。

※スマートフォンの場合は、「スマートフォンはこちら」をクリックせず、ID・パスワードを入力してログインしてください。

※パソコン・スマートフォン等のインターネット接続環境をお持ちでない方はご相談ください。個別で郵送させていただきます。ただし、学期ごとの申し出となります。

前期成績発表・・・8月下旬

後期成績発表・・・2月上旬（成績確定は3月上旬です）



ご不明な点等ありましたら、本学教務課までご連絡ください。

〈お問い合わせ先〉 京都文教短期大学教務部教務課

TEL：0774-25-2411 E-mail：aca-aff@po.kbu.ac.jp

■ 学生課より

キャンパスライフ

◆今年度の学生支援

コロナ感染症5類への移行後、2023年度4月より、活気あるキャンパスが戻って参りました。新入生は新たな学びのステージに立ち、緊張の面持ちもオリエンテーションを過ぎた頃には新たな友人との出会いに恵まれ、大学生としての一歩を踏み出しています。学生の笑顔が輝くキャンパスが本学の誇りです。学生の修学と日常生活を見守り、支えておられる保護者の皆様に、本会報におきまして、学生課より本学の学生生活支援の状況をご報告させていただきます。

昨秋からの物価高騰は、大学生にも少なからず影響を与えております。本学では、毎週火曜・木曜日におにぎりとパン・ジュースの無料配付を続けております。また、日本学生支援機構「物価高に対する経済対策支援事業」の一環で、本学学生全員にプリペイドカードを支給することができました。（次頁「プリペイドカードの配付」参照）

課外活動も息を吹き返し、3年ぶりの涼暮祭(7月)・指月祭(11月)開催、学生自治組織学友会のイベント企画、広報チーム「Bプロジェクト」の始動など、学生自身が学生生活を楽しくしたいという目標をもった主体的な課外活動の取り組みは先輩から後輩へとバトンをつなぎながら、本学を

盛り上げてくれています。

また、授業や通学等、学生生活を送るための必要な支援を求め、学生課障がい学生支援室に立ち寄る学生も増えています。すべての学生にとって、本学での2年間の学生生活が充実したものとなるよう環境整備を推進し、あわせて、目標に向かって努力を続ける学生一人ひとりに寄り添った対応を日々、行っています。学生各々は、経済面、人間関係、体調などさまざまな事情から困りごとや悩みを抱えているため、学生課、障がい学生支援室をはじめ、学生相談室、健康管理センターが窓口となり、相談に応じています。

本紙の各項目にて詳細をお知らせしております。ご参照ください。

◆下宿生のつどい

4月27日(木)サロン・ド・パドマにて下宿生の集い(大学学生自治会、短大学友会、学生課共催)が開催されました。オープニングに司会進行役2名で「うちのおかんが京都の大学の名前を忘れ



た」「それは京都文教大学に間違いない」「それなら違うか」という聞きなれたフレーズの漫才を披露。続いて大学、短大両学長よりご自身の一人暮らしの体験を交えたご挨拶を頂戴しました。健康管理センターからの体調管理・とっさの処置のレクチャーの後は、下宿生+有志のメンバーが班

に分かれ、自己紹介。班対抗のゲームで得点を競い、一人暮らしに嬉しい賞品が配られました。コロナ禍では難しかったお弁当タイムも設けられ、課外活動団体の紹介を聞きながら参加者は食事を楽しまました。この春から一人暮らしを始めた、短期大学生は33名(4月現在の数)。期待と不安を抱えながら入学してきた参加者は皆一様に楽しかったと笑顔で答え、大変好評でした。

◆2023年7月 涼暮祭2023が開催されました

7月6日(木)、7日(金)、大学祭(指月祭)のプレイベントとして七夕の季節に開催されてきた「涼暮祭」が8回目を迎えました。2年のブランクの後、昨年は感染対策優先での小規模開催でしたが、今年は一般来場可とし、楠のロータリーにも模擬店を出店。同唱館、ロータリー、サロン・ド・パドマと会場を拡げ、楽しいゲーム・クイズ企画・ステージ発表とパワーアップして、参加者を迎えました。当日は、予想以上に、参加学生が多く、初夏の夕暮れの宇治キャンパスに、夏祭りの賑わいが戻ってきました。大学祭実行委員会は、熱中症、感染症等の対策を講じつつ、参加者との楽しい時間を作りあげました。



◆2023年11月 指月祭2023 「テーマ：GROW UP」を開催いたします

本学の一大イベント「指月祭」は11月11（土）,12日（日）に開催が決定いたしました。今年のテーマは「GROW UP」、テーマカラーは「グリーン」です。

ー実行委員会よりー

テーマである「GROW UP」には成長するという意味があります。昨年度は3年ぶりに指月祭が開催され、試行錯誤をしながら運営しました。今年度はさらにレベルアップした姿を見せたいという思いが込められています。若葉を芽吹かせ成長していく木々の新緑をイメージし、新たな学園祭をつくろう！と、テーマとテーマカラーを決めました。

本学の指月祭は大学生・短大生で組織された大学祭実行委員会により実施されます。イベント・タレント・模擬・情報宣伝・装飾・ステージ部門に分かれ、鋭意準備を進めています。開催の際は、保護者の皆様もどうぞ温かな応援をいただきますよう、よろしく願いいたします。

◆クラブ・同好会紹介

(2023年6月現在)

○クラブ10 ○同好会1 計11

- ★女子バレーボール部
- ★女子バドミントン部
- ★女子バスケットボール部
- ★美術部 ★茶道部 ★弓道部
- ★PINKISH
- ★女子硬式野球部
- ★JOM ★食育クラブ
- ★ちょいスポ（同好会）



女子硬式野球部



PINKISH



茶道部

◆学友会企画紹介

学友会は、短期大学を自分たちが活性化させるという強い目的意識をもって、日々活発に活動しています。短大生のキャンパスライフをより楽しくする様々な企画を実現しています。7月には年間イベントの一つである「ビンゴでGO!!」(7月21日)が開催されました。学友会役員2名「ミキ★マユ」が祭りの法被を着て登場し、参加者114名からの拍手で始まり、ビンゴを進行。揃えられた50を超える景品から好きなものを選ぶのも楽しく大盛況でした。来年も開催するため、現1回生がこの企画を次年度継続するよう、現在役員を募集中です。



◆Bプロジェクトについて

京都文教短期大学学生代表チーム「Bプロ」は、学生有志が集まり、本学の広報活動を行っています。本学に見学に来る高校生に対して、本学の学生として模範的な姿勢を示しながら、各学科の教育目標・学習成果をプレゼンテーションしています。

オープンキャンパスごとにミーティングを実施し、高校生にわかりやすく説明するための準備や事後の実施内容を分析するなど、活動は頻繁で、1年があっという間で。今年大幅に刷新された本学ホームページやパンフレットの制作にも積極的に協力しています。



◆日本学生支援機構「物価高に対する経済対策支援事業」について

日本学生支援機構では、円安やウクライナ情勢等の国際情勢に端を発する資源価格上昇に伴う物価高の影響から厳しい生活を余儀なくされている学生等を支援するため、「物価高に対する経済対策支援事業」として、学生等に対して学生生活を送るための食費や修学に必要な消耗品（文房具・教材等）の費用など、大学等が独自に支援を実施する取組みを推進することを目的として実施されました。本学は事業に申請し、支援金を交付され、本学学生全員にはプリペイドカードを支給いたしました。

学生からは、物価高による食費の節約、教科書、交通費の値上がりの実状について、学生課に生の声が寄せられ、大学生活の必需品購入のためプリペイドカードを大切に利用していました。

◆「月影奨学金」「宗立宗門校奨学金」「知恩院奨学金」授与式

本学では毎年、各学科より推薦された成績優秀な学生へ奨学金が給付されます。

1回生は各学科1名ずつの計3名に「知恩院奨学金」(1名に5万円)が授与されます。

2回生は前期に「宗立宗門校奨学金」(10名)、後期には各学科の成績上位の者(学生数の約8%)に対して、上位より15万円(2%)、10万円(2%)、5万円(2%)、3万円(2%)の「月影奨学金」が授与されます。成績上位の学生は、コロナ禍でも、真摯に学業に取り組み、頑張った学生たちの代表でもあります。授与式では、森井学長、久米学生委員長より温かなエールが贈られました。授与された奨学生は学内に氏名のみ掲示しています(学生了承)。



宗立宗門校奨学金



月影奨学金・知恩院奨学金

◆学生支援の相談窓口について

「相談したいな」と思ったら...

それぞれの相談内容に合わせてリンクに飛べます。
まずは相談予約を入れてみませんか？



あなたの相談ごとは何ですか？

- 1 健康面での心配がある** (病気のこと・服薬について・ケガについて...等)
→ [健康管理センター](#)へ
(↑をクリックするとメール画面にリンクしています。本文にお名前と相談内容を書いて送信してください)
- 2 心の面での心配がある** (イライラや落ち込み・誰にも話せず悩んでいる...等)
→ [学生相談室](#)へ
(↑をクリックするとHPにリンクしています。その中の「お問い合わせ」からご連絡いただけます)
- 3 病気や障がいなどにより授業で困っていることがある**
(欠席が多くなる・提出期限までに課題ができない・人前で発表できない・教室に入れない...等)
→ [障がい学生支援室](#)へ
(↑をクリックすると面談予約ができます)
- 4 学生生活のことで悩みがある**
(奨学金・経済面の悩み・課外活動・アルバイト・休学や退学...等)
→ [学生課](#)へ
(↑をクリックするとメール画面にリンクしています。本文にお名前と相談内容を書いて送信してください)
- 5 大学内でのイジメや嫌がらせについて悩んでいる**
(学生どうしのイジメや嫌がらせ、先生から学生へのハラスメント...等)
→ [キャンパスハラスメント相談室](#)へ
(↑をクリックするとメール画面にリンクしています。本文に相談内容を書いて送信してください)

■就職進路課より

保護者の皆様方におかれましては、平素より進路・就職支援事業に格別のご支援・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

就職進路課では1回生7月より公務員ガイダンス、進路ガイダンス、公務員試験対策講座、11月より就職ガイダンス、幼保就職ガイダンスを開催し、企業への就職希望者に対しては就職活動直前となる2月に面接試験対策講座を開催しております。また、随時個別面談を通じて学生との接点を可能な限り持ち、企業、幼稚園、保育所等が求める人材へのモチベーションを高めると共に社会人基礎力の一つである言葉遣いや礼儀作法についても指導しております。

また、幼児教育現場においては近年、幼・保一元化に伴い認定こども園に移行する傾向にあり、その採用条件としては幼稚園教諭免許、保育士証の免許・資格が必要となります。保護者の皆様には、幼稚園・保育所のどちらかへ就職を希望する場合であっても両方の免許・資格を目指し、豊かな教養はもとより専門知識と技能に対しても研鑽を積むよう、適切なアドバイスをして頂きますようにご協力をお願いいたします。

さて2022年度（令和3年度）卒業生の就職決定率につきましては100%（昨年度99.5%）となり、高い就職決定率をキープできました。

各学科別進路決定状況につきましては、後述の資料をご覧くださいと思いますが、各学科とも教学内容に即した希望の進路を実現されたことは大変喜ばしいことだと考えております。これもひとえに、日々寄り添われた保護者の皆様のご指導の賜物だと感じております。この場をお借りいたしまして感謝申し上げます。

ここで就職活動中の学生が毎年苦勞している点についてご紹介させていただきます。企業側（園側）が知りたいことは学生の体験（出来事・エピソード）を通じた人物像です。具体的には①短期大学での学び②学生時代に力を注いだこと③自己PR（セールスポイント）④志望動機です。以上の事を履歴書やエントリーシート、面接において伝えなければなりません。つまり高校時代も含めてどんなことに興味を持ち、部活動・サークル活動、学業、資格取得に向けた取組やボランティア活動等をどのように頑張ったか。併せて自分の長所・短所、企業研究や保育・教育方針について事前に纏めておくことが大切です。しかし残念なことに最近は文章作成を苦手とする学生が多いという現状です。そこで普段から頑張ったことや気づいたこと、アルバイトでの経験等をノート等に記録する。または「新聞を読み、理解する」ことを習慣とすることを推奨しています。また面接では特別なことを求められるのではなく、人柄となる挨拶・態度・表情・言葉遣いは勿論、自分の考えや思いを自分の言葉で適切に伝えられるかということが大切であり、日常的な言動がいかに大切であるかということになります。

就職活動は本人にとりまして大変なストレスとプレッシャーが伴います。学生達の相談・対応につきましては対面の他、メール、WEB面談等も実施しております。ご家庭におきましては学生の皆様が自分の思うように進まない時など、保護者の皆様方に相談する機会もあると思います。その折りには学生の皆様の思いにも寄り添って積極的に聴いてあげて頂きたいと思っております。

また、栄養士・幼稚園教諭・保育士といった専門職従事希望者は、資格取得見込みでの内定となりますので、資格取得に向け最後まで努力する旨アドバイスをよろしくお願いいたします。地元でのUターン希望の学生に対しては、地元の求人情報収集にご家庭で協力いただければ幸いです。

今後の将来を決める大事な就職活動を共に頑張り、この厳しい状況乗り越えるため、ご家庭でのご協力もいただきながら、学生のこれからの人生のために注力して参りたいと思っております。就職進路課では、本人が自立に向けた主体的な進路選択ができるように指導して参ります。

今後とも、保護者の皆様方の温かいご支援・ご協力をお願いいたします。



令和4年度 卒業生の進路・就職状況 令和5年5月1日現在

()内数字は令和3年度

京都文教短期大学 就職部 就職進路課

項目	学科			合計	備考	
	ライフデザイン	食物栄養	幼児教育			
A. 卒業生数	61 (63)	41 (54)	106 (124)	208 (241)		
B. 大学進学等	4 (1)	0 (3)	1 (2)	5 (6)	大学5名	
C. 専門学校等	1 (0)	1 (1)	0 (0)	2 (1)	専門学校2名	
D. アルバイト等	8 (5)	5 (5)	7 (3)	20 (13)	注:週30時間未満または雇用契約期間1年未満の者 アルバイト20名	
E. 進学準備等	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
F. その他	2 (3)	0 (0)	2 (3)	4 (6)	留学1名、科目等履修2名、その他1名	
G. 不明	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
H. 就職希望者数	46 (54)	35 (45)	96 (116)	177 (215)		
I. 就職決定者数	46 (53)	35 (45)	96 (116)	177 (214)		
J. 未就職者数 (H-I)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (1)		
K. 就職希望率 (H/A)	75.4% (85.7%)	85.4% (83.3%)	90.6% (93.5%)	85.1% (89.2%)		
L. 就職決定率 (I/H)	100.0% (98.1%)	100.0% (100.0%)	100.0% (100.0%)	100.0% (99.5%)		
就職先業種	農業、林業	0	0	0	0	
	鉱業、採石業、砂利採取業	0	0	0	0	
	建設業	1	0	0	1	
	製造業	5	3	0	8	栄養士2名※1
	電気・ガス・熱供給・水道業	0	0	0	0	
	情報通信業	0	1	0	1	
	運輸業、郵便業	1	0	0	1	
	卸売業・小売業	13	2	3	18	
	金融業・保険業	0	0	0	0	
	不動産取引・賃貸・管理業	2	0	0	2	
	広告・その他の専門・技術サービス	1	0	0	1	
	宿泊業、飲食サービス業	3	13	0	16	栄養士4名※2
	生活関連サービス業、娯楽業	3	4	2	9	保育士1名
	学校教育	0	1	51	52	栄養士1名※3、幼稚園教諭14名、保育教諭36名、保育士1名
	その他の教育、学習支援業	0	0	0	0	
	医療業・保健衛生	9	5	1	15	栄養士1名※4、保育士1名
	社会保険・社会福祉・介護事業	0	4	39	43	栄養士3名※5、保育士39名(うち指導員3名)
	複合サービス事業	1	0	0	1	
その他サービス業	7	1	0	8		
公務	0	1	0	1	地方公務員1名	

2023.5.1作成

栄養士 内訳 (計11名)

※1) 企業内社員食堂2名、※2) 受託給食会社4名、※3) 幼保連携型認定こども園1名、※4) 社会医療法人1名、※5) 保育園1名、福祉施設2名

■ 図書館より

宇治キャンパス内には、図書館が三館（普照館・至道館・常照館）あり、約33万冊の蔵書を利用することができます。

中でも短大生がよく利用する至道館の図書館は、1974年竣工の一番古い図書館で、積層書架という珍しい構造となっています。

歴史ある貴重な資料を所蔵し、一方では最新の資料と情報も備えたどこかレトロな魅力ある図書館を目指しています。

学生は、三館それぞれのもつ資料の特徴や館内の雰囲気、開館時間の違いを上手く活用し、日頃の自習の場や居場所として利用しています。

資料の閲覧・貸出だけではなく、DVDの視聴、パソコンの利用、グループ学習など、学生のさまざまな図書館利用に対応するべく環境を整えています。

また、新入生対象図書館ガイダンスやゼミ単位等での図書館情報利用講習会の実施、学生が大型書店で自ら本を選ぶ企画「学生選書ツアー」の開催、栄養士・幼稚園・保育所の各実習に役立つ図書コーナーや授業の課題・就職活動・資格取得に役立つ図書コーナー等を適時設けるなど、少しでも学生にとって役立つ図書館であるよう日々工夫しています。

新型コロナウイルス感染症の影響も日々変化する中、図書館では、学外からでも閲覧できる電子ブックや図書館情報管理システムの充実を図り、自宅で学習する学生の支援にも引き続き積極的に取り組んできました。

また、この新しいシステムでの情報発信に加え、図書館情報誌「あーゆす」、図書館公式ツイッター、キャンパス内での掲示ポスター等でそれぞれの特徴を生かしたタイムリーな情報発信にも努めています。図書館情報誌「あーゆす」では、学生ライターも募集しており、これまで多くの学生が寄稿してくれています。バックナンバーは、図書館ホームページからご覧頂けますのでぜひ一読ください。今後も学生が安心して利用できるよう図書館運営に努めて参ります。

保護者の皆様におかれましても、地域に開放されている本学図書館をご利用頂きますようご案内申し上げます。

図書館利用証のお申し込み、その他詳細は図書館ホームページをご覧ください。

(<https://opac.library.kbu.ac.jp/drupal/>)



蔵書数(3館合計)	【2023年3月31日現在】
一般図書	329,854冊
絵本・文庫・新書等	71,168冊
視聴覚資料(DVD・VHS等)	9,023点
雑誌・新聞等	2,724種

■ 社会連携部 フィールドリサーチオフィスからのお知らせ

◆ 京都文教大学・京都文教短期大学社会連携部フィールドリサーチオフィスについて

京都文教大学と京都文教短期大学社会連携部フィールドリサーチオフィスでは、地域に根ざした教育、研究、社会貢献を軸に、学生や教職員と地域の架け橋となり、学生が地域の方々とふれあい活躍できる場、教員が社会に貢献できる機会を創り出す役割を担っています。

【行政、経済団体との連携について】

本学は、これまで宇治市(平成22年2月)、京都府(平成27年3月)、久御山町(平成30年2月)、精華町(平成31年2月)、宇治商工会議所、城陽商工会議所、久御山町商工会(平成31年3月)、城陽市(令和2年1月)伏見区(令和2年3月)一般社団法人京都中小企業家同友会(令和4年3月)と連携協力に関する協定をそれぞれ締結し、地域との連携・協力を発展させながら、様々な取り組みを進めてきました。

また、京都府・滋賀県との就職支援協定を締結し、京都府や府内の企業と連携して「就職支援」「インターンシップ」「企業理解」をキーワードにさまざまな取り組みを強化・促進しています。

【学生、教員の地域での活動について】

学生たちはこれまで、地域の子どもたちや親子を対象にした食育活動や音楽イベントなどの企画・開催、市町村や企業と協同した地元農産物を使ったメニュー開発、にこにこルームや近隣幼稚園・保育所での活動や宇治市等で開催されている各種イベントへの出展参加など、地域との取り組みや社会への貢献を実践することで、授業での学習成果に加え、主体的に取り組む力や実践的・社会的学びを体得してまいりました。

(1) 宇治市役所食堂での「適塩ランチ」の提供

平成27年3月に公表された「宇治市健康づくり・食育推進計画(平成27年度～令和6年度)」で重点課題として挙げられている「生活習慣病の発症予防と重症化予防」の取り組みとして、令和4年度は宇治市役所食堂で、京都文教短期大学食物栄養学科(令和4年度時点学科名)望月美也子先生指導のもと同学科の学生と宇治市食生活改善推進委員協議会「若葉の会」が協働し考案した適塩ランチが提供されました。

(2) 城陽市「減塩メニュー」の考案

誰もが健康で人生の最後まで自分らしく暮らせるまちを目指すために、高血圧症の予防・改善を図るための「減塩」を核とした「健康で質の高い」まちづくりを進める取り組みに城陽市が令和2年度より京都文教短期大学との協働で事業を実施しています。

城陽市の広報誌である「広報じょうよう」と健康情報サイト「HEALATHO」(<https://healatho.com/>)には、京都文教短期大学食物栄養学科(令和4年度時点学科名)の学生が考案した減塩レシピや教員によるコラムの掲載、城陽市内の飲食店が取り組む塩分量を抑えた「減塩メニュー」の開発など様々な活動に取り組んでいます。

「天然塩は、ミネラルを豊富に含んでいて体に良く、減塩に向いていますか」と聞かれることがあります。確かに、精製されていない天然塩には、マグネシウムなどのミネラルが含まれており、まろやかで深い味わいを感じられる商品が多いようです。しかし、主成分は食塩ですから、一般的な食塩と同じように使う量には注意が必要です。

では、天然塩はミネラルの摂取源として良いものと言えるのでしょうか。実は、天然塩に含まれる代表的なミネラルであるマグネシウムから摂取できるミネラルの量は、豆類や野菜などの食材に含まれる量に比べると、それほど多いわけではありません。ミネラルの摂取方法としては、天然塩に頼るのではなく、バランスの良い食事が大切です。

また、刺身や天ぷらなどに、天然塩をほんの少しつけると、食材の風味が引き立つといわれます。このような使い方は減塩につながるといえます。天然塩の良さを生かして、賢く利用しましょう。

【広報じょうようへのコラム掲載】

※図は『広報じょうよう』2023年7月15日号(No.1723)より。

(3) 「ぶんきょう子どもひろば」の実施

幼児教育学科では、学科各教員の専門性を生かした地域連携のプログラム「ぶんきょう子どもひろば」に取り組んでいます。その一環として、幼児教育学科の学生による絵本の読み聞かせや、ふれあい遊びの紹介、学生が企画と準備をした製作遊び、運動遊び、パーカッションアンサンブル、ゲーム・工作体験を行い、学生自身も学びながら、近隣の子育て中の親子と交流を深めています。



【ぶんきょう子どもひろば】

(4) 公開講座の実施・協力

令和4年度に京都文教公開講座「子育て世代の食の教室 手指の衛生～ウェットティッシュの使い方と注意点～」(ライフデザイン総合学科 ライフデザインコース 教授 田中恵子)・「子育て世代の食の教室～こどもの偏食の受け止め方と対応～」(ライフデザイン総合学科 ライフデザインコース 講師 岩田美智子)をぶんきょうにこにこルームにてとオンデマンド配信にてハイフレックス開催、伏見連続講座「親子で伏見クッキング☆～『桃』で感じる伏見!お菓子づくり～」(ライフデザイン総合学科 栄養士コース准教授 小西康仁)を開催や、オンデマンド配信している向日市減塩講座への講師協力(ライフデザイン総合学科 栄養士コース 教授 小椋 真理)等、本学の専門的知見を地域に還元しました。

その他、ともいき(共生)フェスティバルへの参加や、太陽が丘でのイベントの企画、うーちゃフェスティバルへの参加、MOMOテラスにおける幼稚園児対象の器楽演奏会の実施など、学生にとっても学科の専門知識や技能の習得にとどまらず地域連携活動を通して社会性や主体性・実践力を高め、卒業後の社会生活にも役立つ学びとなるよう支援しています。

■ 令和5年度「正課外学習支援講座・検定試験」学内開催予定(受講者対象)

◆正課外学習支援講座

秘書技能検定対策講座 2級・3級 (全学生)
パソコン資格取得講座【Microsoft Office Specialist受験対策講座】 Word・Excel・PowerPoint (全学生)
ITパスポート対策講座 (全学生)
公務員試験対策講座 (1回生)

◆検定試験

秘書技能検定試験 準1級・2級・3級 (全学生)
日本漢字能力検定 2級・準2級・3級 (全学生)
Microsoft Office Specialist試験 (Word・Excel・PowerPoint) (全学生)
TOEICテスト (全学生)
家庭料理技能検定 1級～3級 準1級 (食物栄養学科・ライフデザイン学科・ライフデザイン総合学科)